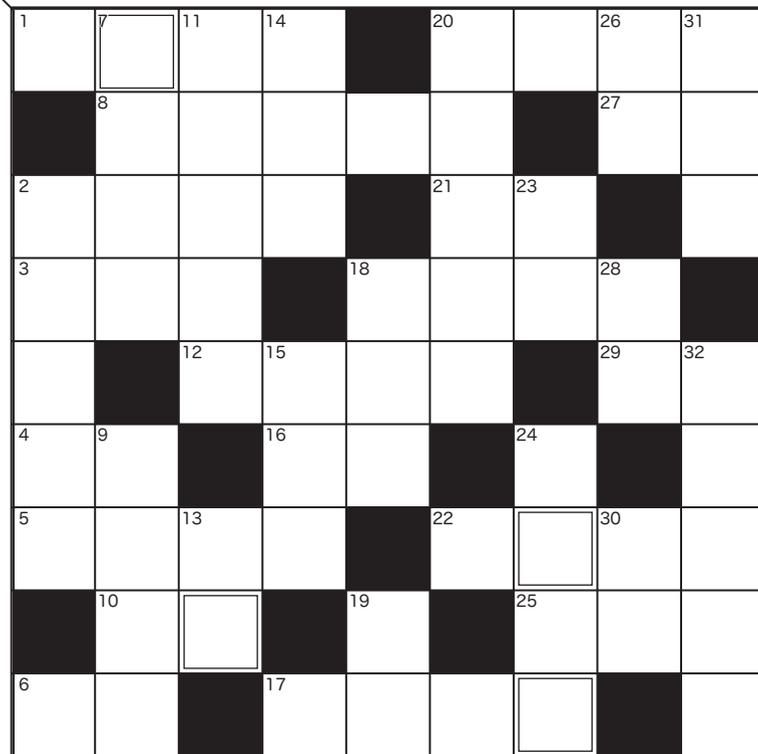


夢野久作をもっとよく知るクワースワードパズル!

タテのカギ

- 2 裏か表で決めちゃう
- 7 うなぎと川下りが有名な福岡の観光地。
小説「空を飛ぶバラソル」の登場人物○○○○ヨシエ
- 9 岩波文庫版「ドグラ・マグラ」上巻の表紙の女の子はこれか前に出てます ㊦
- 11 ナゾを解くと、「?」がこうなる!
- 13 小説「瓶詰地獄」には、海に漂うビンに入った手紙が登場しますが、この果物も海に漂う
- 14 夢野久作の息子の最後の住まいは太宰府市でしたが、太宰府と齒磨き嫌いにはこれが多い
- 15 小説「蠅人形」は萌園泰道名義で書かれましたが、ところどころリカちゃん人形と若大将に共通する名字
- 18 ヨコ 29 を描くと、黒ばかり減るね
- 19 小説「超人○○野博士」㊦
- 20 雨水の行く下道は国道かしら
- 23 福岡怖いもの研究会のメンバー、五味伸之の所属する劇団の読み方は、「くうかんさいせいじぎょう げきだん○○」
- 24 論理的なこと。ナゾを解くにはこういう考え方も大事です
- 26 「ドグラ・マグラ」を読むと、これのない沼にはまったような気持ちに
- 28 めちゃくちゃの方言。博多弁だとしちゃかちゃ。「あかん、もう、○○や。」
- 30 いちかばちか! 丁か半か! 一世一代!
- 31 夢野久作が小さい頃に習った能の先生の苗字 ㊦
- 32 青年センターだからって入館禁止じゃないよ



最後のヒント : をたどれ

㊦のついているカギは【夢野久作ってどんな人?】を読めばヒントが書いてあるよ!

ヨコのカギ

- 1 夢野久作としてのデビュー作「○○○○の鼓」㊦
- 2 小さい飛行機 子どもの敵 古賀さんちの庭にある滝
- 3 小説「死後の恋」はロシアが舞台ですが、ところでロシアの民話の主人公
- 4 名誉と共に欲しいもの。小説「少女地獄」に登場する第一の手紙の差出人、友成○○子
- 5 夢野久作の戸籍上の苗字 ㊦
- 6 夢野久作は、「猟奇○○」というちょっと恐い短歌集も出しています ㊦
- 8 夢野久作は、エロ・グロ・○○○○から童話まで、幅広いジャンルジャンルの小説を書いています ㊦
- 10 夢野久作の好物で、日記にもたびたび登場する ㊦
- 12 夢野久作は探偵小説作家でもありますか、密室などの○○○○犯罪はあまり登場しません ㊦
- 16 昼寝用のふとんは昼具って言わないの?
- 17 夢野久作の父親の名前 ㊦
- 18 小説「押絵の奇蹟」を激賞した明智小五郎の生みの親の名字 ㊦
- 20 夢野久作は、○○○○小説と呼ばれる作品を多く残しました ㊦
- 21 【夢野久作ってどんな人?】の中の、『』で囲まれた言葉 ㊦
- 22 ⇄長い
- 25 相場より割高な言い値。○○○なしの大特価。
- 27 小説「支那米の袋」で、少女はこれを入れる袋に入れられて船に乗せられます
- 29 心にもある、光の届かない部分

【夢野久作ってどんな人?】
夢野久作は、1889年に福岡県で、杉山茂丸の子として生まれた小説家です。幼名は杉山直樹、後に泰道と名を変えます。今回の会場である青年センターの隣にある大名小学校は、当時は大名尋常小学校といい、久作が幼少期を過ごしました。小さい頃から梅津只圓うめづただまるに能を習い、その後の作品にも影響を与えています。中学修猷館しゅうこうかん(現在の修猷館高校)卒業後、一度軍隊に入隊し、除隊後、慶応義塾大学へ進学。大学中退後、放浪生活を送ったりもしましたが、福岡に戻り、その後は東京に出て行くよりも、地元福岡で作品を発表することに生涯こだわり続けました。職業作家ではなく、農業経営や、九州日報(現在の西日本新聞)の記者などをしながら、小説を書き続けました。タバコと菓子が好きで、なかなかのモダンボーイだったようです。菓子は、日記にも度々「食いすぎた」といった一文が見られます。「あやかしの鼓」が懸賞小説の二等に当選し、小説家デビュー。「押絵の奇蹟」は江戸川乱歩に激賞されます。代表作は「ドグラ・マグラ」という長編小説です。探偵小説と銘打たれていますが、密室などの不可能犯罪を探偵が解決する、というタイプのものではなく、夢と現実が交じり合う不思議な物語です。映画化やアニメ化もされ、今でもファンによって読みつがれていますし、日本探偵小説三大奇書のひとつに数えられています。岩波文庫版上巻の表紙は、あられもない格好の女性が右肩を前に出したポーズで描かれており、エロ・グロ・ナンセンスな作家性をあらわしています。(だから手に取りにくいんだよね…)「猟奇歌」というちょっと怖い短歌も書いており、怪奇小説や幻想小説のイメージが強いですが、切り絵絵本「ルルとミニ」など、子供向けの童話もたくさん書いていて、杉山萌園もくゑん、香具土三鳥かぐつちさんとり、土原耕作など、本によって様々なペンネームを使い分けています。作品は他に、「少女地獄」「大神博士」「超人髭野博士」「いなかの、じけん」など。今回のイベントは、福岡の作家、夢野久作を皆さんにより身近に感じてもらうことを「意義」としています。

